

様式第1号

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

① 第三者評価機関名

一般財団法人 大阪保育運動センター

② 施設・事業所情報

名称：杉の子保育園	種別：保育所		
代表者氏名：小阪美恵子	定員（利用人数）：84（81）	名	
所在地：兵庫県尼崎市常光寺1丁目6番1号			
TEL 06-6401-5035	ホームページ： https://suginoko4901.jp		
【施設・事業所の概要】			
開設年月日：1974年1月1日			
経営法人・設置主体（法人名）：社会福祉法人 杉の子会			
職員数	常勤職員：15名	非常勤職員：9名	
専門職員	(専門職の名称)	名	
	保育士 19名	調理師 1名	調理員 1名
	栄養士 1名		
施設・設備の概要	(居室数)	(設備等)	
	保育室6, 病児室1, フリースペース1, 地域兼相談室1, 事務室1,	園庭、プール、調理室、調乳室	

③ 理念・基本方針

理念 「ひとりの声からみんなの明日へ」

社会福祉法人杉の子会の理念は、権利主体である子どもたちの全面発達と、働く権利・豊かに子育てする権利・平和に生きる権利を保育事業を通して支え、保障することを大きな柱にしている。理念の根源は日本国憲法であり、子どもの権利条約と児童憲章である。

基本方針

- 1, 子どもの全面発達をめざし、保護者と保育士が手をつないで保育していきます。
- 2, みんなと知恵を出し合い、民主的に運営します。
- 3, すべての子ども達にゆきとどいた保育を実現するため、保育運動の前進へと努力します。
- 4, 地域の子どもたちを守る砦として、地域のお母さんたちと手をつないでゆきます。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

- ① 安心安全な食材を用い、アレルギー除去・代替え食に取り組んでいます。
- ② 入園児のみならず、地域で子育てする人の相談を受け支援しています。
- ③ NPO法人 IP00 と連携し、卒園しても学習面や居場所づくりでの支援をしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成 4 年 11 月 7 日 (契約日) ~ 平成 5 年 4 月 8 日 (評価結果確定日)
受審回数 (前回の受審時期)	2回 (平成25年度)

・⑥総評

<p>※ 当評価機関は独自に在園児保護者アンケートを実施し、評価の参考にしています。</p> <p>※ 全国社会福祉協議会の評価基準ガイドライン改定に伴って、兵庫県の評価基準も2016年度から改定されました。評価項目ごとの「a・b・c」の評価は、兵庫県の評価基準と判断基準に従っています。</p> <p>「a」判断基準（取組）を全て実施している</p> <p>「b」判断基準（取組）の一部を実施している</p> <p>「c」判断基準（取組）のいずれも実施していない</p> <p>杉の子保育園は1974年に法人認可のスタートですが、1968年から地域で無認可共同保育を営み、50年を超える歴史を持つ保育園です。理念の「ひとりの声からみんなの明日へ」のスローガンのもとに「たとえ最初は一人のねがいであっても、将来社会的に望ましい方向に進む事や、より多くの人たちの願いに合流する事であるなら、困難さに目を背けずに実践していく。そして運動を通して制度化したり保障していく礎を築く事という精神で事業を進める」と、子どもの権利と保護者の生活を守る保育を、地域の人たちと共に培ってきました。</p>
<p>◇特に評価の高い点</p> <p>○園の歴史が培った地域との信頼 理念と基本方針に沿って長く活動してきたことで地域の信頼は厚く、当評価機関が実施した保護者アンケートでもそのことは伺えました。その信頼を基礎にアトスペースなどを持つNPO法人と連携して子ども達への発達保障や学習支援など、より必要とされる活動を広げ地域と支え合って発展しています。</p> <p>○経験豊かな職員による安定した保育 法人の理念に共感し実践を重ねた経験豊かな保育士が多いことで、保育技術の伝承なども現場で実践を交えて伝えることができています。職員配置にゆとりがあり、どのクラスも複数の保育士で保育に当たり、配慮を必要とする子どもも含めて、一人ひとり丁寧にかかわる保育ができています。</p> <p>○環境改善と次の発展を目指す努力 前回の第三者評価受審後、施設設備の改修を行い、各保育室は広く、遊ぶ場所、生活する場所、食事する場所等別々にとることができ、一人ひとりの子どものペースに合わせて生活の節の切り替えが行えるようになっていました。NPO法人や姉妹園との連携なども活かし、いっそう事業の発展が期待できる園です。</p>

◇改善を求められる点

法人と力を合わせ、施設や職員体制など環境や書類は整備され、園の運営に大切な土台を構築しています。法人と園の連携を活かして、今後は法人と園の役割を明確にし、園としての運営課題を客観視することへの、いっそうの努力を期待します。

整備した書類やマニュアル、各種計画などの具体的活用において、職員全体が、それらの目的や必要性について深く理解し共有し、次への発展へ繋ぐ組織づくりを望みます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

前回の受審より9年、子どもの人権を大切に、保護者、職員、地域の人たち、一人ひとりの願いをくみ取ることを大切に歩んできました。この間、園舎が新しくなり、職員が半数以上入れ替わった中で、評価項目のひとつひとつ丁寧に職員と話し合い、考え合う機会を持つことができ、50年に及ぶ歴史や役割、保育について改めて振り返ることができました。

全体的な計画やマニュアルについてなど、保育に関わる全てにおいて、若手からベテランまで様々な立場の職員が全員で検討、討議し見直すことが出来たことは、とてもいい機会となりました。

法人全体での方針、取り組みは評価されましたが、杉の子保育園としての独自のもの、これまで歩んできた歴史や地域性などを加味した方針や計画を実践していくことを今後の課題としていきます。

地域との関りは、社会資源としての福祉施設を目指し、中長期計画などの中で見通しを持ちながら様々な機関とつながり、更なる発展を目指していきたいと思えます。

また、保育計画や実践的なところでは、ベテラン職員が多い事や保育体制や施設の広さなどが充実している事、セキュリティ一面などを客観的に見ていただいたことで、もう一度保育のねらいやあり方、職員それぞれの役割や位置づけの見直し、組織作りを行っていきたいと考えています。

評価機関実施の保護者アンケートでは、信頼を寄せていただいていることを励みにしながら、意見を頂いたことについて職員の中で検討し保護者と共に杉の子保育園を作っていきたいと考えております。

今後は、改善内容を真摯に受け止め、法人の理念の元、子どもを真ん中にしながら、地域、保護者、職員が手をつなぎ、集団討議をくり返しながら今後も民主的な運営を目指していきます。ありがとうございました。

⑧各評価項目に係る第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

第三者評価結果

※すべての評価細目について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 職員ハンドブックに理念・基本方針・保育目標などが法人の職員倫理綱領と共に記載され、職員が園のルーツを訪ねるなど理念を深く理解する取り組みを工夫しています。基本方針は各保育室にも掲示し、保育園のしおり（重要事項説明書）にも記載しています。カラーでコンパクトな法人合同の園のリーフを作成し、職員・保護者共に日常的に周知を図る努力をしています。		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 文献や学習会での情報収集に努力し、法人内の3園で管理者間の交流も図り、事業経営を取り巻く状況の把握に努めています。園としての分析などにも期待します。		
③	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 中長期計画や人材育成計画などを立て、経営課題については一定明確にしています。その解決・改善に向けての具体的な取り組みが、今後の課題です。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
④	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 中長期計画は、「保育事業にとどまることなく、地域福祉の拠点としての役割を果たす」などのビジョンも明確にし、「保育運営、地域との関係、人材育成、施設設備」などの項目に沿って策定しています。さらに数値目標や収支計画を伴うことを期待します。		
⑤	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 新しい中長期計画が2022年に策定されたことから、事業計画策定とのタイムラグが若干生じており、中長期計画の項目に沿っての単年度計画の充実は今後の課題となっています。		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
⑥	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	Ⓐ・b・c

<p>〈コメント〉</p> <p>事業計画は冒頭に「理念・基本方針・保育目標」が明示され、事業の重点課題を明記し、項目に沿って、適切に策定しています。職員の意見は総括会議、職員会議等で、見直すと共に、職場改善委員会で職員アンケートなどもとり、反映しています。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・(b)・c
<p>〈コメント〉</p> <p>園のしおり、園だよりに必要な部分を記載し保護者会役員との懇談会などで周知しています。事業計画の内容について保護者の理解をいっそう促す努力をすることで、園運営への理解と今後の事業発展につながることを期待します。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・(b)・c
<p>〈コメント〉</p> <p>方針や計画に基づき、総括会議、職員会議等で議論し質の向上に努力しています。園の自己評価や職員個人の自己評価のシステムを充実し、職員全体で取り組む機能の向上を期待します。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・(b)・c
<p>〈コメント〉</p> <p>法人合同または園独自の各種会議において課題を出し合っています。検討結果に基づく、具体的な取り組みの充実に期待します。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	(a)・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>当園では園長として2年目ですが、法人の姉妹園での園長経験も生かし、役割と責任を職員に表明しています。法人共通フォーマットでの職務分掌表だけでなく、新たに園長・主任の職務を文書化して提示するなど、理解を図る努力をしています。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	(a)・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>社会福祉経営者団体の研修などにも積極的に参加し定期的に文献も購読し学習しています。法令等のファイルの背表紙を赤色にする等、重要度を意識し敏速に対応できるようにしています。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・(b)・c
<p>〈コメント〉</p> <p>法人内研修チームで交流し、園内でも職員の意見を吸い上げ努力しています。ベテラン職員が多い職場の良さを生かして、さらに保育の質の向上へ、リーダーシップの発揮を期待します。</p>		

13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・(b)・c
<p>〈コメント〉</p> <p>月2回開催される法人の合同会議（理事長と3園の園長・主任）で、方向性を確かめ、園内では副主任を含めた会議や職員会議で取り組みを検討しています。確かめられている今後の経営の改善方向へ、法人本部とも連携しながら指導力の発揮に期待します。</p>		

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・(b)・c
<p>〈コメント〉</p> <p>中長期計画、人材育成計画などで、人材の確保・定着に関する計画を立てています。ベテラン職員が多い人材を生かして、さらに今後求められる事業展開における具体的な計画の立案と取り組みの実施が望まれます。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・(b)・c
<p>〈コメント〉</p> <p>人事考課基準や、その運用フォーマットは整備しています。職員の自己評価や面談も実施しています。人事考課基準と、その運用フォーマットの具体的な活用と生かし方について、法人・園が連携して習熟し、その取り組みの推進が求められます。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	(a)・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>ベテラン職員が多く、他法人から戻って来る職員もいるなど、働きやすい職場づくりが伺えます。職場改善委員会の職員アンケートも生かし、職員の意向を配慮しています。有給休暇消化率も適切です。メンタルヘルスについても専門家の援助を受けて予防と対策に取り組んでいます。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・(b)・c
<p>〈コメント〉</p> <p>人材育成計画や、年間研修計画なども作成され、研修報告書もあります。職員の自己評価や面談も行っています。さらに研修計画を、職員一人ひとりの目標や達成状況が分かる内容を補強するなど、ベテラン職員が多い職場にふさわしく研修計画をさらに充実することを望みます。</p>		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・(b)・c
<p>〈コメント〉</p> <p>研修計画に沿って、研修が実施され、報告書もあり、受講できなかった職員へは報告書が回覧方式で学べるようにしてあります。子どもや地域・家庭の状況に応じて、新たな保育の試みも行われていることから、計画の評価・見直しなどの充実を期待します。</p>		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	(a)・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>園の職員配置状況を生かして、時間内研修が保障されています。外部研修や法人研修もオンラインを活用し、職員が動画を作成するなど工夫して、研修受講の促進に繋いでいます。</p>		

Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	㉠・b・c
<p><コメント> 実習マニュアルを整備し、実習現場担当保育士の役割や留意点も分かりやすく明記しています。実習の大事さについて職員間での共有に努力し、主任・園長とも適切に連携し、指導助言を行っています。</p>		

Ⅱ－3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 地域との関係を大切にしている園として、運営の透明性に心がけています。ホームページも刷新し、情報公開に努力しています。園内外の掲示物や、配布物も広報に努めています。		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 経理規定なども整備しています。歴史が長く、地域からの信頼も厚いので、財務なども関係者の中の専門家の援助も受け行われています。今後、外部の専門家などのさらなる助言などを期待します		

Ⅱ－4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 園児が散歩に出ても地域の人たちからの自然な声掛けなど、園が長い歴史の中で地域から信頼され、支えられていることが随所に伺えました。園は地域の行事などの取り組みにも積極的に参加し、NPO法人IPPOと連携しての子ども支援など、活動を広げています。		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・b・c
<コメント> ボランティアマニュアルを整備しています。中高生の体験学習などの受け入れも積極的に行っています。NPO法人IPPOと連携しての活動でも、多くのボランティアと関わりを持つことが、園としてのボランティア受け入れ体制の確立にも繋がっています。		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 医療型児童発達支援センターなどとも連携し、地域の中にある子ども団体などを紹介するなど社会資源や、関係機関との連携を大切にしています。さらに子どもと保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストを作成するなど、いっそうの工夫に期待します。		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・b・c
<コメント> 車椅子対応が出来る本園で一時保育なども積極的に行い、さらに乳児室の改装で、いっそう機能の強化に努力しています。外との出入りが開放的な分園では、セキュリティーに注意を払いながら、夜間の活用にも積極的に応えて、機能の地域還元にも努力しています。		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 自治会に参加し、地域の福祉ニーズの把握に努め、必要とされる取り組みに積極的に応えています。NPO法人との連携で蓄積した様々な経験を、さらに地域の公益的取り組みへと発展させることを期待します。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・(b)・c
<コメント> 職員ハンドブックに保育の基本方針が記載され、保育の実践の中で繰り返し論議していることが職員面接からもうかがえました。今後は、保護者とも理解を図る取り組みを期待します。		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	(a)・b・c
<コメント> マニュアルが整備され、職員ハンドブックにも明記しています。研修会などでプライバシーの保護や同意書など丁寧に実施していました。会議などでの周知の方法も確認できました。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	(a)・b・c
<コメント> 見学者には施設見学だけでなく保育内容の取り組みなどの説明や資料も用意されていました。法人で作成しているパンフレットを見直し、新たに園での子どもの様子や保育内容がわかるコンパクトな物を作成するなど、情報提供に努力しています。		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a・(b)・c
<コメント> 保護者アンケートを取るなどして保護者の意向を聞く取り組みなど丁寧に行われています。配慮が必要な保護者への説明方法など保護者にもわかるようにルール化し明示することを期待します。		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・(b)・c
<コメント> 保育所修了後も相談できるように働き掛けています。転園などでの引継ぎは口頭で行われていましたが、文章での引継ぎなどより丁寧な取り組みを期待します。		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	(a)・b・c
<コメント> 法人合同会議などで園独自の保護者アンケートの意見を検討し、保護者や子どもの声を聞く取り組みと検討が法人として組織的に行われていました。当評価機関実施の保護者アンケートでも肯定的評価でした。		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・(b)・c
<コメント> 苦情解決の体制が整備されていました。今後の取り組みとして保護者等へ配慮をしたうえで公表するシステムの構築を期待します。		

35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	㉑・b・c
<p>〈コメント〉 園独自のアンケートの取り組みや意見箱もあります。施設内に相談スペースがあり、さらに必要に応じて隣接した分室を使用するなど、プライバシーにも配慮していました。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	㉑・b・c
<p>〈コメント〉 乳児クラスだけではなく幼児クラスでも連絡帳を活用し保護者とのコミュニケーションを大切にしていました。職員ハンドブックに「保護者との信頼関係にについて」明文化し、相談や意見は、園長・主任・副主任会議でも対応し、組織的・迅速な取り組みに努力しています。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・㉑・c
<p>〈コメント〉 安全点検など毎月実施し見直しなども園長・主任・副主任会議で検討されていました。今後はより多くの職員が参画できるような委員会の設置などを望みます。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	㉑・b・c
<p>〈コメント〉 感染症のマニュアルに基づいての学習や見直しなど職員の参画で丁寧に行われていました。保護者にも情報を掲示して状況を共有していることを確認しました。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にやっている。	㉑・b・c
<p>〈コメント〉 災害におけるマニュアルを整備しています。自治会に加入し、近隣の工場へ逃げる想定での訓練や、小学校との訓練などの実施も確認しました。</p>		
40	Ⅲ-1-(5)-④ 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知している。	㉑・b・c
<p>〈コメント〉 食中毒マニュアルが整備され、都度の見直しも行き、調理室と共に職員への周知も行われていました。毎月開催される法人の栄養士会議で徹底し、年間で定めた時期に見直しも行っています。</p>		
41	Ⅲ-1-(5)-⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	a・㉑・c
<p>〈コメント〉 不審者マニュアルも整備され、防犯訓練なども行っています。事務所に警察や消防への直通連絡なども設置し、連携を図っています。分園のセキュリティーについて一層の工夫と検討を期待します。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
42	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	㉠・b・c
<コメント> 「主な発達の特徴と内容」と題する冊子が作成されており、保育の具体例などを記載し、職員へ配布し活用していました。文書だけではなく、実施状況や課題についても話し合い、一定水準が保てるような取り組みを行っていることを確認しました。		
43	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・㉡・c
<コメント> 園長・主任・副主任会議で、指導計画なども見直しています。保護者やより多くの職員の意見が反映される仕組みづくりを期待します。		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
44	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a・㉢・c
<コメント> 一人ひとりの健康状態や家庭環境などを把握し、指導計画を策定しています。保育園が主導的になり様々な職種の関係機関との連携、会議が実施できるよう今後の取り組みに期待します。		
45	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・㉢・c
<コメント> 指導計画は総括会議や各種会議で見直しています。見直しにあたって、標準的な保育の実施方法に反映すべき事項や保育の課題などが明確にされるシステムの構築を期待します。		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
46	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・㉢・c
<コメント> 児童票、保育計画、記録などはアセスメントに基づいて作成されています。子どもの状況を職員会議などで共有しています。今後、「保育実践」研修チームでの記録の書き方や内容などの学習検討など行えることを期待します。		
47	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	㉠・b・c
<コメント> 個人情報保護規定を策定し、記録の管理は文章管理規定に基づいて行われています。職員への研修や保護者への説明など丁寧に行われています。情報開示規定も定めています。		

評価対象A 実施する福祉サービスの内容

A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a・(b)・c
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	(a)・b・c
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	(a)・b・c
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	(a)・b・c
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a・(b)・c
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a)・b・c
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a)・b・c
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・(b)・c
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a)・b・c
A⑩	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a)・b・c
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	(a)・b・c
A-1-(3) 健康管理		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	(a)・b・c
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a・(b)・c
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	(a)・b・c
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a・(b)・c
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	(a)・b・c

特記事項

- ① 保育の理念や基本方針に基づいた全体的計画は作成しています。今後、子どもの家庭状況や地域の実態を考慮した計画への一層の充実を期待します。
- ② 第1回目の第三者評価受審後、大規模な改修工事を行い、手洗い場やトイレは明るく清潔が保たれていました。保育室にゆとりがあり、遊ぶ場所、食事する場所、午睡する場所を別にするできていました。
- ③ どのクラスも人的配置にゆとりがあり、子ども一人ひとりと十分に関われる環境が整えられていました。乳児クラスでは、子ども自身が入室のタイミングを決めるなど、子どもに寄り添う保育が行われていました。
- ④ 職員ハンドブックや「主な発達と保育内容」の冊子があり、標準的な保育の共有が行えるように整えられていました。
- ⑤ 週案に戸外遊びや園庭あそびの計画もあり、身体を動かして遊ぶ時間や環境を確保しています。散歩で出会った地域の方々に元気よく挨拶している幼児クラスの姿がありました。各部屋の棚等に年齢に合わせたおもちゃを置き自由に遊べるように配置しています。さらに子どもの意志を尊重する保育のより一層の充実を期待します。
- ⑥ 一人ひとりに関わる事が出来る人的配置があり、ゆったりと過ごせる環境があります。クラスの中でも月齢別で過ごす時間を作ったり子どもの発達にも配慮していました。
- ⑦ 保育室に余裕があり、遊ぶ場所と生活に必要な場所を分けることができます。そのため、一人一人のペースで遊びに区切りをつけたり、食事に向かうことができます。
- ⑧ 保育のねらいや活動内容を明確にするために、異年齢保育に必要な指導計画の策定を望みます。
- ⑨ 配慮が必要な子どもに個別に関わる職員配置があります。個別の指導計画を作成し、様々な配慮や援助を行っています。
- ⑩ 0歳児の延長保育は別室でおこない、静かに過ごせる環境がありました。
- ⑪ コロナ禍で交流に制限がある中でも、小学校職員との意見交換を行い、就学への見通しを保護者へも伝えるなど努力しています。
- ⑫ 保健計画を作成し、マニュアル等は整備し、保健たよりも出しています。
- ⑬ 健診結果をまとめて書面にし、保護者にも個別に健診結果を知らせています。今後、総括会議等での健康・保健のまとめなどに取り組み、全職員の保育に反映できるよう望みます。
- ⑭ アレルギーマニュアル・給食マニュアルに沿って取り組みを行っています。アレルギーの子どもには、代替食も提供し、保護者との連携も図っています。
- ⑮ 当評価機関が実施したアンケートでも給食への保護者の満足度は高かったです。コロナ禍で給食時に大勢で食事するのは難しいですが、子どもたちの配膳時の一層の工夫などや、今後の実践に期待します。
- ⑯ 同法人内三園の給食担当で統一献立を作成し、必要に応じて園の子どもに合わせて変更を行っています。園内でも給食委員会を行い、保育士等の意見なども反映させています。保育室に絵献立の表があり、子どもにわかりやすく興味を持てる工夫をしています。

A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	Ⓐ・b・c
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	Ⓐ・b・c
A⑲	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	Ⓐ・b・c

特記事項

当評価機関が実施した保護者アンケートでも保育園に対する信頼度が高く、保護者と信頼関係が築かれていることが伺えました。全園児の個別の連絡ノートで保護者とやり取りしています。相談を受けた時は記録に残し、全職員が共有しています。対応に悩んだ時は、園長、主任に相談できる体制があります。

虐待マニュアルが整備されていました。保健師等、地域との連携を図っています。

A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A②	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・(b)・c

特記事項

職員個人の自己評価票と園の自己評価は書面で確認しました。今後、職員と園の自己評価が、保育実践の振り返りに活かせ、職員相互の学び合いや意識の向上、保育の改善や専門性の向上につながるように、園の自己評価の観点や設問内容などを検討することを期待します。